

安保法制 違憲訴訟に加わる

大学聴講生

(大阪府 67)

と市民との小さな集会にであつた。皆疲れた様子でうなだれていた。ある男性が「野党が結束したら」とつぶやいた。政権交代させてこの法律を廃止にしたいのだ。確かに前回総選挙での自民公明の小選挙区での絶対得票率は約25%。野党が結束できれば夢ではない。

新宿のバスターミナルまでの夜道を歩きながら、私たちが諦めればこの国はどうなるのかと思つた。あれほど盛り上がった運動が何かしないとつぶれそうだし、きっと各地で違憲訴訟が起ころう。私もその原告の一人になりたい。

法案成立直後、野党議員

立派になった日本の姿に涙

医師

(広島県 54)

安保法制が成立し、日本はこれで、世界で戦争ができる国になりました。

自衛隊は今や立派な軍隊に成長してきています。本番への登場を望む米軍の期待に応えなければなりません。それが米政府との大事な約束だし、わが国が世界に貢献する道なんです。

政府が総合的に考えて必要と判断すれば、ちゃんと戦争ができます。国会対策はまかせてください。特定秘密保護法を盾に、国民が知らなくてもいいようにない

とは封印できます。

兵隊の確保もまかせてください。定職につけない低所得の若者はごまんといます。「生活保障」といえば喜んで入隊するはずですよ。

戦争の費用もまかせてください。戦時に高齢者や障がい者を後回しにするのは当然です。社会保障費を大胆に見直します。またこういう時のために消費税率をコソコソ上げてきました。打ち出の小づちなんです。

日本は本当に立派な国になったのですね。本当に、悲しくて、悲しくて、涙が出ます。